

ゆきちゃん通信

1999年11月25日

No.5

発行人 tomi

今年もがんばりました！

『ともだちいっぱいコンサート』

11月21日、若竹の会のコンサートが開催されました。

6ヶ月ほど前から練習をはじめましたが、去年は平気だった自己紹介が、今年はどうしても出来ません。練習の時には言えるのに、みんなの前に立ってマイクを握ると、どうしても逃げ出してしまいます。みんなに注目される事が耐えられないらしいのです。由紀子自身もなんとかがんばろうと思っているようなのですが…どうしてもダメです。(ため息の連続 ハアー！)

そして、とうとうリハーサル。

文化会館のステージで、やはり逃げ出してしまった由紀子を見て、私は開き直すことにしました。

『もういい！本番で逃げ出しても追いかけるのはやめよう！

コンサートでいい所をみんなに見てもらうことだけが目標ではないのだから、練習でがんばってきた事だけでもいい！』と…。

危険がないように舞台の袖に逃げ出した由紀子を確保してくれる人を配置して本番を迎えました。

やはり、舞台に立ってみんなの顔が見えた途端、我慢できなくて走り出しましたが、少し離れた所で名前を言う事が出来ました。

そして、私が代わって紹介が終わると自分から戻って来て、ちゃんとお辞儀をする事が出来ました。

その後のパフォーマンスや楽器演奏は上手に…とはいきませんが、動揺する事もなく最後までがんばりました。

本来、音楽に独特のこだわりを見せる由紀子は、コンサートで使われる音楽のほとんどが苦手で、練習の始めの頃は耳を押さえて練習場の隅の階段に座って参加するのが精一杯でした。練習のたびに何回も泣きました。でも、由紀子自身が『コンサートに出たい。』そう思っていたのは確かでした。『コンサートに出るんでしょ？』の励ましにきちんと反応して少しずつ乗り越えてきたのです。

これで精一杯でした。

由紀子にとって今回のコンサートは大成功だと思います。

自閉症の子どもにとってコンサートはつらい事ばかりです。

練習中のパニックの連続にこんなに我慢をさせる事がいい事なのか迷います。でも、苦手なことだからこそ由紀子のペースを守りながら経験を積ませていかなければいけないのかもしれないとも思いました。コンサートのたびに、いつもこの迷いが私の中に生まれます。

見て！見て！

七五三の晴れ姿



早生まれの由紀子は今年が七五三でした。どうですか？かわいいでしょう？「親ばか」とか「ちよっとふとり気味」という声が聞こえてきそうだけど、「お黙り！わがやの姫君であるぞ！」なのだ。隣りは、おばあちゃんです。由紀子は「バアーバ」と呼びます。

由紀子の 学校生活

その1「鍵盤ハーモニカ」
音楽に強いこだわりを持つている由紀子。嫌な音楽がなると耳をふさいで、ひどい時にはパニックを起こしてしまうことも度々でした。でも、最近ちよっとした変化がありました。音楽の授業の中の鍵盤ハーモニカです。「キラキラ星」の曲が自分で弾けるようになったのです。みんなに誉められてすっかり気を良くした由紀子は次の曲『日の丸』も一生懸命練習しました。そしてついに「日の丸」も弾けるようになりました。初めて自分から何かを出来るようになりた」と意志を示してくれました。みんなと同じ事ができるようになった事は、大きな自信になったと思います。

その2「由紀子の叫び」
福江小学校ではこの時期、持久走大会があります。一年生は運動場を二周します。最近太り気味の由紀子にとってこれはツライ！先生の話では一周走った所からずつと叫びつづけるのだそう…。
「ダツコッ！」
「おしまい！」
「すみかちゃん！」
「おすわり〜！」
ありとあらゆる言葉を叫びつづける由紀子。
先生いわく
『側で走っていると耳が壊れそうよ！叫んだ方が疲れると思うのだけどね。』
想像しただけでもため息が出そうです。
大会の時は覚悟して見に行かなければならないようです。
がんばれ！ ゆきー！
そして、痩せようね！

その3「いもほり」

学級園で作ったお芋を掘りました。土の上にとっかかりと座り込むのが大好きな由紀子。手に持った大きなお芋が見えますか？



その4

食べ物話題ばかりで恐縮ですが、今度はミカン狩りです。ミカンは由紀子の大好物。取るよりも食べる方が忙しかったかも。

